

2022年3月30日

●●株式会社 御中

株式会社 and action

荒川 和泉

保険契約の現状と経営リスク分析レポート

拝啓 早春の候、貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日お預かりした保険証券を一覧表にして、御社の保険契約の現状を把握致しました。現状から気づいた点を箇条書きにて下記にまとめとおります。今後のコストの削減や補償内容の見直しのお役立ちとなれば幸いです。

貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

記

●年間保険料について

損害保険保険料額	3,711,780 円/年
生命保険保険料額	4,630,100 円/年
合計保険料	8,341,880 円/年

●5つのリスクの視点

【損害保険】

1、ヒトのリスク

- ・雇用リスクは身体障害ありの使用者賠償責任リスクと身体障害なしの不当雇用慣行リスクに備える必要がございます。
- ・労災による死亡保険金額の設定根拠について説明します。
- ・東日本大震災以降、地震による業務中のケガは労災認定となり、地震噴火時に補償の必要性がより高くなりました。
- ・基本的な使用者責任に対する備えは4段階となります。
 - ① 従業員満足度を高める（福利厚生）
 - ② 訴訟になる前に弁護士に相談する（弁護士相談）
 - ③ 死亡保険金の上乗せで示談交渉を行う（死亡保険金）
 - ④ 示談に応じてもらえない時は使用者賠償責任保険で備える（使用者賠償）

2、企業の資産のリスク

- ・入居されている建物の評価額は適正か確認させてください。(借家人賠償の金額)
- ・什器備品の評価額について確認させてください。
- ・水災の支払が縮小割合 50%になっていますが補償は適正でしょうか。
- ・精密機器の動産保険については時価となっております。保険会社によっては新価での取り扱いがございます。

3、収益減少のリスク

- ・収益減少リスクの保険金額について 30 万円/日は適正金額でしょうか。
(一般的には粗利の金額を設定します。)

4、賠償責任のリスク

- ・民法改正による【命の値段】が変わったことに関して情報提供致します。
- ・上記と合わせ賠償保険金額が 1 億円で適正なのかご検討ください。

5、自動車事故のリスク

- ・車検証上の所有者・使用者が 10 台に達していればフリート契約への切り替えが必要となります。(保険料が大きく削減できる可能性が高いです)
- ・対歩行者等事故傷害特約について情報提供致します。
- ・法人における人身傷害の設定金額について情報提供致します。
- ・年齢条件について念のためご確認ください。
- ・保険料の払込方法が月払・年払が混在しています。
- ・保険会社によっては提携工場を使用する場合、代車を借りることができるので、レンタカー特約付帯についてはコスト削減の為補償を外すことも検討できます。

以上